

画家の思いをどうつなぐ

西村俊郎の画業回顧から

2026. 10.10^{Sat} ▶ 2027. 1.24^{Sun}



西村俊郎【日高の海】
油彩／キャンバス、1960-75年 F60
協力：西村 正

【開館時間】 10:00 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）

【休館日】 毎週火曜日、12/28-1/3 冬季休館

【観覧料】 一般 500 円／割引 400 円（65 歳以上、障がい者手帳・三溪園入園券をお持ちの方）

〒231-0822

神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7

TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式 HP : <https://www.yh-g.org/>

関連 HP : <https://www.iwata-museum.org/>

横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery



《榮子像》1950年 油彩 / キャンバス

画家の遺作継承と遺志承継

画家の思いをどうつなぐ
西村俊郎の画業回顧から 展示にあたって

画家・西村俊郎（1909－2000）は、岡田三郎助、藤田嗣治に師事し、いわゆる戦争画も手がけましたが、穏健な写実的画風で人物・風景を主なモチーフとしました。本展はその画業を回顧するとともに、遺作その他を継保管し、その制作にかけた遺志を承継しようとする親族の取組みを紹介します。

「よい絵を描きたい」、「多くの人に自分の絵を見てもらいたい」…大多数の画家がそう思っているはずです。「多くの人」にはもちろん「後世の人」も含まれます。しかし現実には、ごく一部の画家を例外として、たいへんに厳しい。美術館などの収蔵庫は既に満杯で寄贈もできず、一部は買い手がついても、大部分はゴミ扱いとなりかねません。

「もっと評価されてもいいのでは」…近親者の情を越えてそう思っても、壁は「保存」、「記録」、「発信」。画家の遺族の実践を中心に、他の事例なども交えて、対応の方策を探ります。



二次元バーコードにて当館の詳細な情報が見られます

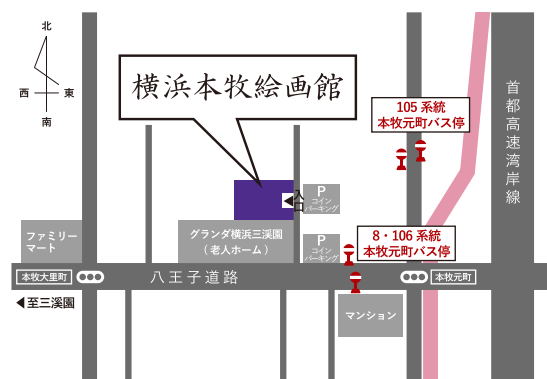
横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery

当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

岩田榮吉(1929-1982)

当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯バリで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ 17 世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプルイユ（だまし絵）を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)
※車いす用の来車スペースが1台分あります。ご利用は事前にご連絡ください。

公共交通機関からのアクセス

元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約30分・徒歩1分

横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約40分・徒歩1分

桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統
又は2番乗り場から8系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、
道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分

「画家の思いをどうつなぐー西村俊郎の画業回顧から」展示目録

■第1部 西村俊郎の画業回顧

No.	分類	タイトル	
1	資料	西村俊郎年譜	
2	解説	終戦まで	
3	実物資料	陸軍美術展集昭和19年7月	

人物

No.	分類	制作者	タイトル	制作年	サイズ (cm)		技法材質
5	絵画	西村俊郎	榮子像 (座像)	1950頃	100.5×80.5	40号	油彩／キャンバス
6	絵画	西村俊郎	榮子像	1950	91.0×116.7	50号	油彩／キャンバス
7	絵画	西村俊郎	裸婦	1955	31.8×41.0	6号	油彩／キャンバス
8	絵画	西村俊郎	裸婦	1970	41.0×53.0	10号	油彩／キャンバス

日本の風景

No.	分類	制作者	タイトル	制作年	サイズ (cm)		技法材質
9	絵画	西村俊郎	富士 (山中湖)	1960-75頃	50.0×60.6	12号	油彩／キャンバス
10	絵画	西村俊郎	御嶽山	1960-75頃	91.0×116.7	50号	油彩／キャンバス
11	絵画	西村俊郎	駒ヶ岳遠望	1960-75頃	53.0×65.2	15号	油彩／キャンバス
12	絵画	西村俊郎	吉野の春	1960-75頃	91.0×116.7	50号	油彩／キャンバス

外国風景

No.	分類	制作者	タイトル	制作年	サイズ (cm)		技法材質
13	絵画	西村俊郎	セーヌの流れ	1976-90頃	53.0×72.7	20号	油彩／キャンバス
14	絵画	西村俊郎	モンマルトル	1976-90頃	60.6×72.7	20号	油彩／キャンバス
15	絵画	西村俊郎	公園の子供馬車	1976-90頃	97.0×130.3	60号	油彩／キャンバス
16	絵画	西村俊郎	グラナダ	1976-90頃	97.0×130.3	60号	油彩／キャンバス
17	絵画	西村俊郎	引き潮 (ロリアン)	1976-90頃	45.5×53.0	10号	油彩／キャンバス

馬

No.	分類	制作者	タイトル	制作年	サイズ (cm)		技法材質
18	絵画	西村俊郎	厩舎	1960-75頃	60.6×72.7	20号	油彩／キャンバス
19	絵画	西村俊郎	日高の海	1960-75頃	97.0×130.3	60号	油彩／キャンバス
20	絵画	西村俊郎	ハイセイコー下絵	1973頃	31.8×41.0	6号	油彩／キャンバス

■第2部 画家の思いをどうつなぐ

No.	分類	タイトル	
21	解説	継承・承継上の問題点まとめ	
22	解説	「洋画家・西村俊郎ウェブギャラリー」の構成	
23	解説	「遺作保存」の壁	
24	解説	寄贈美術館の発想と事例	
25	解説	ウェブサイト「岩田榮吉の世界」の構成	
26	解説	寄託美術館ー合同個展専門ウェブ美術館の構想	